



2026年3月期 第1四半期

決算説明資料

(ハイライト情報)

2025年7月30日

蝶理株式会社

POINT

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025 (CIP2025)」を推進

- ・ CIP2025最終年度である2026年3月期通期業績予想達成に向け、売上総利益率改善を推進中。
- ・ 新基幹システム (SAP) が本格稼働。成長戦略の基盤構築を遂行。

業績概要

- 前年同期比減収減益。
- 通期業績予想に対し、概ね想定通りに進捗。

財務基盤

- 自己資本比率 65.4% 高水準を維持。
- ROE^{※1} 10.9%
- ROIC^{※2} 11.0%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益 (年間ベース)

※2 ROIC = 税引後営業利益 (年間ベース) ÷ 投下資本 (自己資本 + 有利子負債) 期中平均

トピックス

- 新基幹システム (SAP) は、予定通り2025年4月から稼働開始。

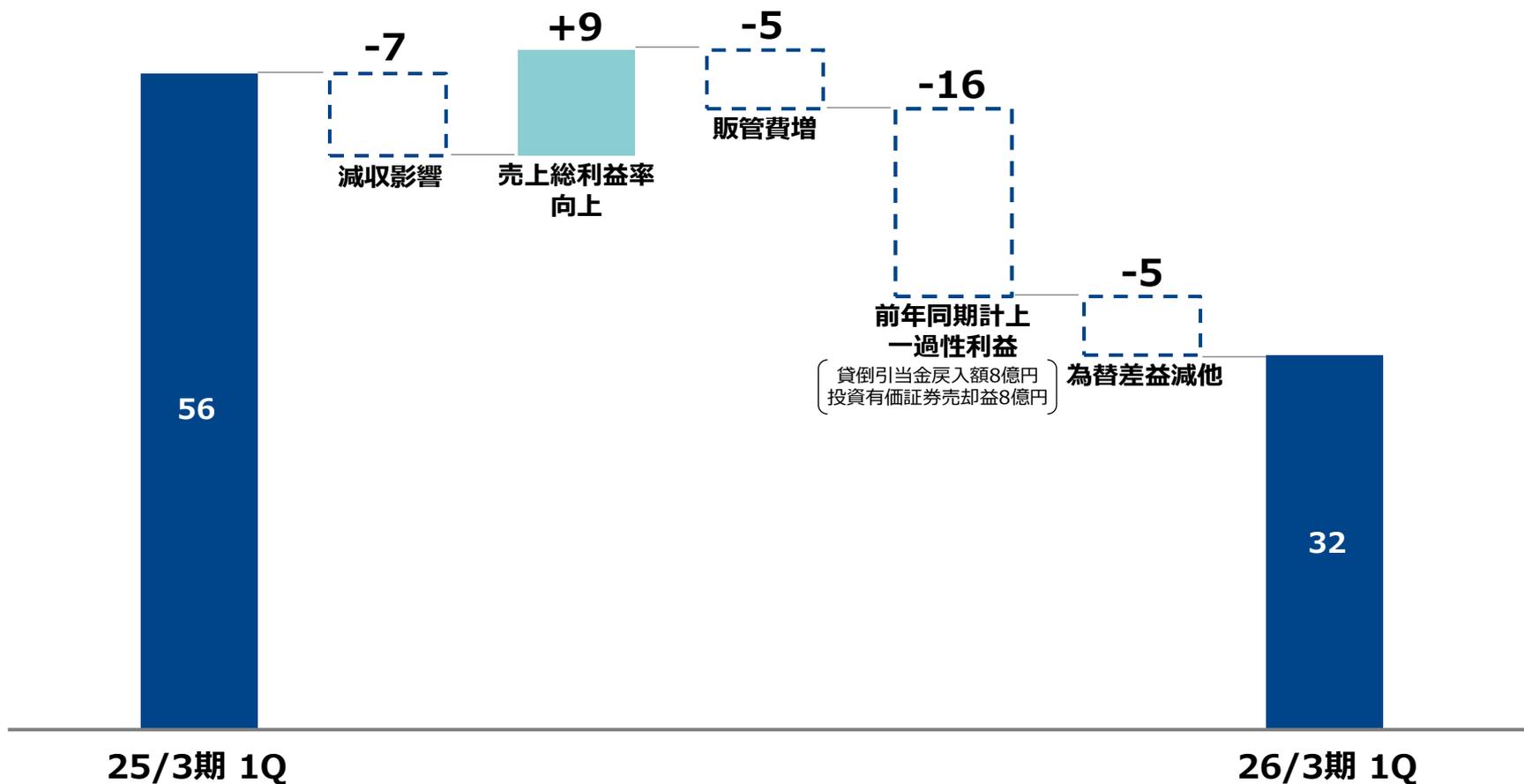
POINT

- 日本経済は、堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境が良化し、緩やかな回復基調。世界経済は、地政学リスクや米国の関税政策等、先行き不透明な状況。
- 市況低迷や為替の影響等により減収。売上総利益率の改善あるも、販管費増を吸収できず、営業利益減益。加えて、前年同期に計上した貸倒引当金戻入額や投資有価証券売却益の反動等により、税金等調整前四半期純利益は大幅減益。

	(単位：億円)	25/3期 1Q	26/3期 1Q	増減額	増減率
売上高		770	716	-54	-7.0%
売上総利益		99	101	+2	+2.0%
販売費及び一般管理費		62	68	+5	+8.5%
営業利益		36	33	-3	-9.1%
経常利益		49	33	-16	-32.5%
税金等調整前四半期純利益		56	32	-24	-42.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益		42	25	-17	-39.7%

税金等調整前四半期純利益の主な増減要因

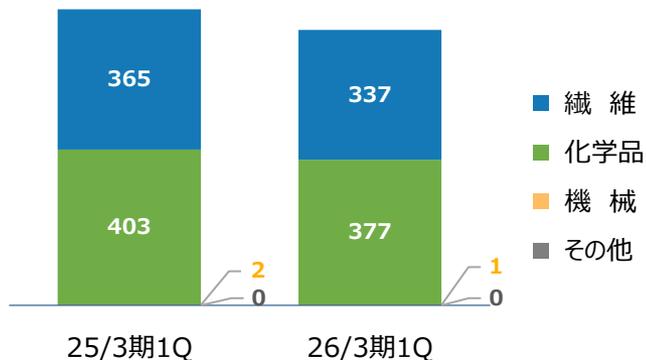
(単位：億円)



セグメント業績

売上高

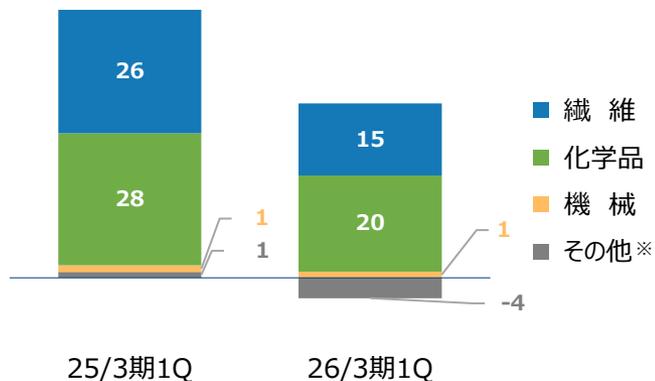
(単位：億円)



	25/3期 1Q	26/3期 1Q	増減額
織維	365	337	-28
化学品	403	377	-26
機械	2	1	-0
その他	0	0	-0
合計	770	716	-54

税金等調整前四半期純利益又は損失

(単位：億円)



	25/3期 1Q	26/3期 1Q	増減額
織維	26	15	-11
化学品	28	20	-8
機械	1	1	-0
その他*	1	-4	-6
合計	56	32	-24

*「その他」には調整額を含んでおります。

織維 減収減益

低調 全般

減益 投資有価証券売却益の反動

化学品 減収減益

低調 パフォーマンスケミカル

減益 貸倒引当金戻入額の反動

回復 ファインケミカル

機械 減収減益

低調 欧州向け自動車販売

POINT

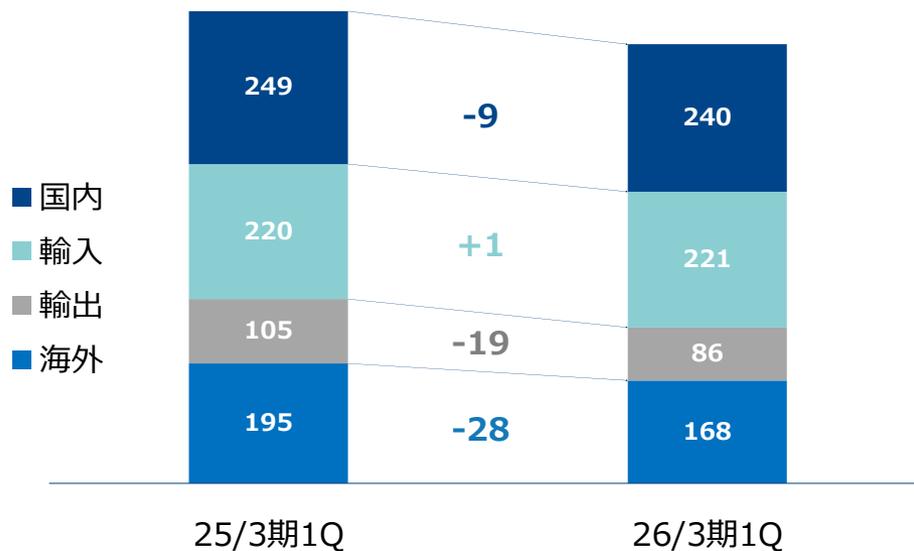
- 国内向け（国内、輸入）は繊維事業が減少。海外向け（輸出、海外）は繊維事業、化学品事業ともに減少。
- 貿易比率：66.4%（前年同期比 -1.2pt）

(単位：億円)

売上高	770	売上高	716
貿易取引	521	貿易取引	475
(貿易比率)	(67.6%)	(貿易比率)	(66.4%)

増減

売上高	-54
貿易取引	-45
(貿易比率)	(-1.2pt)



国内売上高 日本国内仕入の日本国内への売上高

貿易取引

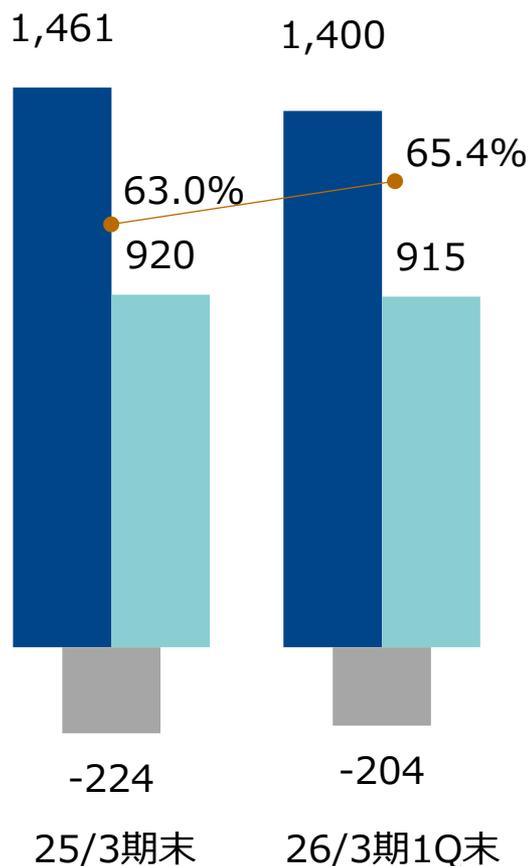
輸入売上高 海外から日本国内への売上高

輸出売上高 日本国内から海外への売上高

海外売上高 海外取引の売上高

(単位：億円)

■ 総資産 ■ ネット有利子負債 ■ 自己資本 ● 自己資本比率



財務健全性

	25/3期末	26/3期1Q末	増減
総資産	1,461	1,400	-61
ネット有利子負債	-224	-204	+20
自己資本	920	915	-5
自己資本比率	63.0%	65.4%	+2.4pt

収益性・資本効率

	25/3期末	26/3期1Q末 ^{※3}	増減
ROA ^{※1}	8.1%	7.0%	-1.1pt
ROE ^{※1}	13.4%	10.9%	-2.5pt
ROIC ^{※2}	11.1%	11.0%	-0.1pt
(参考) ROA (経常利益ベース)	11.2%	9.2%	-2.0pt

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (自己資本 + 有利子負債) 期中平均

※3 年間ベース

POINT

- CIP2025最終年度は成長戦略の基盤構築を遂行。
売上高は当初計画比減収を見込むが、収益性の改善を継続し、利益は安定的に確保。
- 2026年3月期第1四半期業績は、通期業績予想に対し、概ね想定通りに進捗。

(単位：億円)		26/3期 1Q実績	26/3期 予想	26/3期 進捗率	25/3期 通期実績
売上高		716	3,300	21.7%	3,115
	繊維	337	1,660	20.3%	1,527
	化学品	377	1,630	23.1%	1,579
	機械	1	10	15.0%	9
	その他	0	—	—	1
税金等調整前当期（四半期）純利益又は損失		32	160	20.2%	163
	繊維	15	78	19.4%	77
	化学品	20	89	22.7%	89
	機械	1	3	43.1%	6
	その他 [※]	-4	-10	—	-9
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益		25	110	22.8%	117

※「その他」には調整額を含んでおります。

2026年3月期配当金

配当の基本方針

- 継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：連結配当性向30%かつ株主資本配当率（DOE）3.5%以上

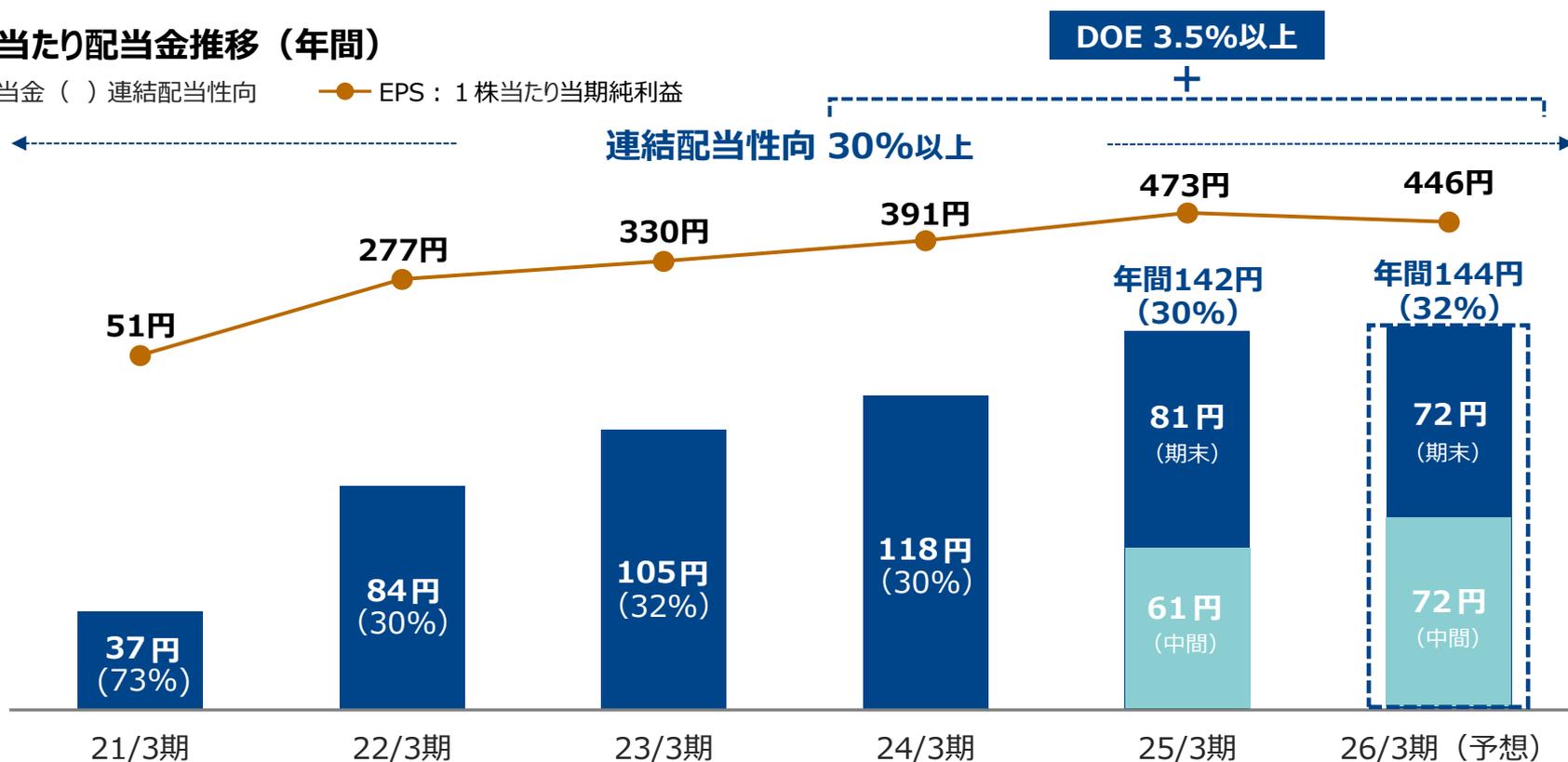
2026年3月期
年間配当予想

年間配当金144円（中間配当72円、期末配当72円）の見通し。

1株当たり配当金推移（年間）

■ 配当金（ ）連結配当性向

● EPS：1株当たり当期純利益





あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、
本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。